

令和 8 年 月 日

平塚市教育委員会
教育長 吉野 雅裕 様

平塚市小学校及び中学校適正規模等
基本方針検討委員会
委員長 山崎 俊裕

平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針について（答申案）

令和 7 年 2 月 5 日付けで、貴職から諮問のあった「平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針」について、本検討委員会で審議した結果、次のとおり答申する。

答申

本検討委員会は、平塚市における児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化のほか、子どもを取り巻く社会環境等の現状と課題を踏まえ、市立小学校及び中学校の適正規模・適正配置の検討を進める上での基本的な考え方を、別添「平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針」にとりまとめた。

【平塚市立小学校及び中学校適正規模等基本方針】

市立学校の適正規模・適正配置の検討に当たっては、以下の点に留意願いたい。

1 共通事項

子どもたちが中心となる学びの環境を充実すること。

平塚市の教育の特色・強みを最大限にいかすこと。

学校・家庭・地域との協議を十分に重ね、地域の意見も取り入れながら丁寧に検討を進めること。

2 3つの視点

（1）児童・生徒最優先の視点

児童・生徒の安心・安全を最優先として、子ども中心の多様な学びを展開できるよう適正な規模の確保に努めること。

全ての子どもたちに寄り添ったインクルーシブ教育を推進すること。

教職員が児童・生徒に接する時間を十分に確保し、効果的な教育活動が展開できるよう教職員のウェルビーイングの向上を図ること。

(2) 地域との関わりの視点

学校は地域コミュニティの核として多様な機能を担うことから、地域の実情を踏まえた検討を行うこと。

学校運営にあたっては、地域全体で子どもたちの学びを支えるため、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールを両輪として推進すること。

地域防災拠点施設としての機能の充実を図ること。

(3) 学校施設の最適化の視点

持続可能な学校施設とするため、延床面積の「量」を見直すとともに、質的向上に努めること。

学校施設の老朽化対策と維持管理費の増大に対応しつつ、効率的かつ効果的な施設活用を図ること。

児童・生徒が安心・安全に過ごすことができる環境であることを大前提とし、その上で、衛生環境が保たれ、快適に学校生活を送ることができる整備を進めること。

3 その他

多様な主体が参画する体制を構築し、幅広い視点から議論を深めること。

将来の学校がどのような学びや生活の場になるかを分かりやすく提示するとともに、教育の質の向上や地域活性化といった期待される効果を市民に分かりやすく説明すること。

児童・生徒数の推移や人口動態の変化を定期的に検証すること。

基本方針の内容を広く市民に共有し、表現やデザインに工夫を凝らすこと。

以 上